



ランタナ
(大庭 プール前)

つな が り

自ら動き、感じ、楽しむ ～笑顔あふれる幼稚園～
～やさしく かしく たくましく～

第 6 号
R3. 9. 7

山口大学教育学部附属幼稚園

2 学期が始まりました

副園長 大森 洋子

前半は猛暑が続き、後半は雨が多かった夏休みでした。この度の大雨で身内やお知り合いの方などで被害に見舞われた方はなかったでしょうか？心よりお見舞い申し上げます。8月上旬からは、新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、会いたい人に会えなかったり、行動がさらに制限されたりということもあったでしょう。そのような中、2学期が始まりました。保護者の皆様には、デルタ株が主流となり、先の見えない中でのスタートにご心配もおおかりかと存じます。感染症対策により一層努め、子どもたちの笑顔を守っていきたいと思います。

さて、子どもたちの笑顔が幼稚園に戻り、一気に園が活気に満ちてきました。やはり、子どもの姿があつてこそこの幼稚園。自動車もブランコも築山も喜んでるように見えます。子どもたちは、40日以上園に来ていないはずなのに、まるで昨日までずっと来ていたかのようにすんなりと遊び始め、本当にすごいなあと思いました。砂場も虫とりもブロックもお店も、昨日の続きのようです。子どもたちが元気に登園して楽しめるようにと、環境整備した先生たちも立派ですが、それを使いこなす子どもたちもまた素晴らしいと感じました。それぞれに、「幼稚園に行ったら〇〇しよう。△△ちゃんと遊ぼう」などと思い描きながら楽しみにしていたのでしょうか。友達と一緒に生活が戻ってきてうれしいです。



9/1 : 1 学期にお気に入りだった遊びをすぐに始めました。 花組：砂場 風組：色水づくり 星組：大型ブロック

始業式：風組と星組は、遊戯室で学年別に始業式を行いました。夏休みに入る前に園長先生と約束した、①元気で過ごす、②あいさつをする、③お手伝いをする、の3つについて、守ることができたかを振り返ると、「ごはんのとき、お箸とかを並べるのを手伝った」、「洗濯物を畳んだ」「きょうだいの面倒をみた」などの声があり、子どもたちも家族の一員として頑張ったのだなと思いました。きっとこれは継続的に手伝ったのだらうと伝わってくる内容もありました。

風組は、先生たちの実演付きで「バツタ」の歌を教してもらい、星組は、園長先生の語りと解説のもとで担任が演じて、「天国と地獄」のお話を見せられました。

地獄では、食事のとき、人々の体と片手は椅子に縛られ固定されていて、もう片方の手に自分の腕より長いスプーンがくりつけられていました。人々は、我先に食べ物自分の口に入れようと思いますが、スプーンが長いのでその前にこぼれてしまいます。そのため、地獄の人々は何も食べられず、どんどんやせ細っていきました。人々はのしり合い、飢えて気が狂いそうになっていました。

天国はどうでしょうか？天国でも、地獄と同じように人々の体と片手は椅子に縛られ固定されていて、もう片方の手に自分の腕より長いスプーンがくりつけられていました。（「同じじゃん」と子どもたち）。そう、同じなんです。けれども天国の人々は十分に食べ、笑顔で、とても楽しそうに暮らしていました。どうしてでしょう？（子どもたちはしばらく考えていましたが、「優しくしてるんだ」「食べさせてあげるんだ！」などと気づいたようでした。）そうなんです。よく見ると、天国の人々は、その長いスプーンを使ってお互いに食べさせていたのです。「これをどうぞ」「お先にいただきます」「ありがとうございます」といいながら、とても幸せそうな食事の様子でした。

実は、天国も地獄も何一つ違わないのです。ただ、地獄にいる人は自分のことばかりを考えているけれど、天国の人々は、お互いに助け合っているから、相手も自分も幸せな気持ちになれるのです。これを「思いやり」と言います。皆さんも「思いやりの心」をもって、2学期を元気に楽しく過ごしましょう。

子どもたちの目がきらりと輝き、元気いっぱいの「はい！」という返事が返ってきました。成長が楽しみです。



7月のバス内への園児置き去りは、本当にいたたまれない事故でした。亡くなられたお子さんは、どんなに熱く苦しかったことでしょうか。保護者の方はどんなに無念だったことでしょうか。気づくタイミングは何度もあったらうと思います。

本園では、親子登園ですし、欠席等の連絡はきちんといただいておりますが、ごく稀に連絡し忘れるケースもあります。そのような場合、親子で何らかの事故や事件に巻き込まれていることも否定できません。遅刻や欠席は必ず9時までにご連絡ください。連絡がない場合は、園から確認の電話を入れさせていただきますので、よろしく願いいたします。



9/1：子どもたちを迎えるかのように、大庭にたくさんのトンボがやってきました。風組も星組も網をもって走り回っていました。日差しがあまりなかったので、アスレチックやブランコを楽しんだり、星組はリレーを楽しんだりしました。

新型コロナウイルス感染症対策について～「レベル3」（学校の行動基準となる地域の感染レベル）の生活～

感染状況を表す「4つのステージ」は、医療のひっ迫具合・療養者数・PCR検査の陽性率などの5つの指標（新型コロナウイルス感染症対策分科会）を目安に、都道府県が総合的に判断するもので、山口県の感染状況は、8月25日に「ステージ4（爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階）」へと移行しました。また、8月13日から実施されている県の「デルタ株感染防止集中対策」は、9月12日までの強化と期間延長が発表されており、県民にはより一層の感染防止対策の徹底が求められているところです。

学校現場はどうかというと、「教育活動の実施の可否やあり方は、子どもたちや教職員等の生活圏におけるまん延状況により判断することが重要」であり、「地域の感染レベル」に応じた行動基準が示されています。（文部科学省：「学校の新しい生活様式」）。山口市教育委員会は、8月26日に地域の感染レベルを「レベル3」に変更しました。

レベル3では、例えば「児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」など、「感染症対策を講じてもお感染のリスクが高い学習活動」は行わないとあります。幼稚園では、これに準じながら、幼児であることや遊びが中心の生活であることを考慮して、教職員一同、緊張感をもって感染防止に取り組みます。ご家庭でもより一層感染防止に努めていただきますようお願いいたします。

また、何度も恐縮ですが、レベル2以上では、「本人のみならず、同居の家族に発熱や咳などの風邪症状が見られる場合も登園を控える」となっています（出席停止扱い）。ご家庭の協力なくしては安心・安全な教育が成立なくなっているということです。どうぞよろしくようお願いいたします。また、次の点についてもご理解・ご協力をお願いいたします。

【登降園】

- ・「登校時の検温結果及び健康状態の確認については校舎に入る前に行う」（8/20：「小学校、中学校及び高等学校等における新学期に向けた新型コロナウイルス感染症対策の徹底等について」とあります。**健康チェックカードを担当に提示し、体温と健康状態を口頭で報告**して（カードは手渡しせず、各自でファイルに入れてください）から、お子さんを保育室へ送ってください。
- ・特別な事情のない限り、保育室内には入らないでください。
- ・送迎時には、集まったり話し込んだりせず、できるだけ速やかにお帰りください。

【マスクの着用について】

- ・涼しくなってきますので、4、5歳児については、集まるときに限らず室内ではマスクを着用するよう促していきます。
- ・3歳児についても、集まるときなどにマスクを着用するようにします。（具体的なことは担任からお知らせします）

降園前の風組保護者の皆さんの並び方が、一学期より俄然素敵になっていました。おのずと高まっている感染予防意識が素晴らしいです。



夏休み中にリニューアル！



汽車はライトを付け替え、綺麗に塗装しました。廊下等の床シートは、年長組周辺など、残っていた部分を全て張り替えました。少しでも安全に遊ぶように、屋外用シートの中では一番クッション性の高いものを張っています。

カーテン洗濯ありがとうございました：綺麗になったカーテンが続々と戻ってきました。おかげ様で、また気持ちよく生活ができます。大物の洗濯や、休みの間中のご家庭での保管はきっと大変だったことと思います。本当にありがとうございました。